
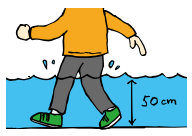

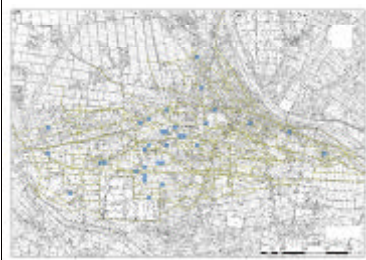







水 害

洪水時の避難の心得

<p>万が一、逃げ遅れたときは</p>  <p>万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の高いところへ逃げましょう。</p>	<p>段差、溝に注意しましょう</p>  <p>避難にはできるだけ高い場所を選び、浸水している場合は段差や溝、水路に十分注意し、長い棒を杖代わりに安全を確認しましょう。</p>
<p>歩ける深さはひざまで</p>  <p>歩ける深さはおよそ50cmくらいです。水深が腰までであるようなら無理は禁物です。高いところで救助を待ちましょう。</p>	<p>足元に注意しましょう</p>  <p>はだしや長靴は禁物です。ひもでめられる運動靴をはいて避難しましょう。</p>

雨の強さと浸水想定区域

	1時間雨量が30ミリの場合	1時間雨量が40ミリの場合	1時間雨量が50ミリの場合
浸水想定区域図			
人の受けるイメージ	20~30ミリ未満 (強い雨) 	30~50ミリ未満 (激しい雨) 	50~80ミリ未満 (非常に激しい雨) 
人への影響	傘をさしてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる
屋内(木造)	寝ていても半数くらいの人が雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ、ブレーキが効かなくなる	車の運転は危険

避難情報

非常時の避難の心得

<p>非常持ち出し品の事前準備を</p>  <p>避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。</p>	<p>正確な情報収集と自主的避難を</p>  <p>ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険感じたら自主的に避難しましょう。</p>	<p>動きやすい格好、二人以上の避難</p>  <p>避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での避難をこころがけましょう。</p>	<p>お年寄りなどの避難に協力を</p>  <p>お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。</p>
--	---	--	--

避難勧告の発令条件

種別	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備(要援護者避難)情報	・災害時要援護者等特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	・災害時要援護者等特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所への避難行動を開始(民生委員、自主防災組織、町内会、近隣協力者等の避難支援者は、要援護者の避難支援行動を開始) ・上記以外の者は、家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始
避難勧告	・通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	・通常の避難行動ができる者は、計画された避難場所等への避難行動を開始
避難指示	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・堤防の隣接地等、地域の特性から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・人的被害の発生した状況	・避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了 ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は、生命を守る最低限の行動

非常時の持ち出し品

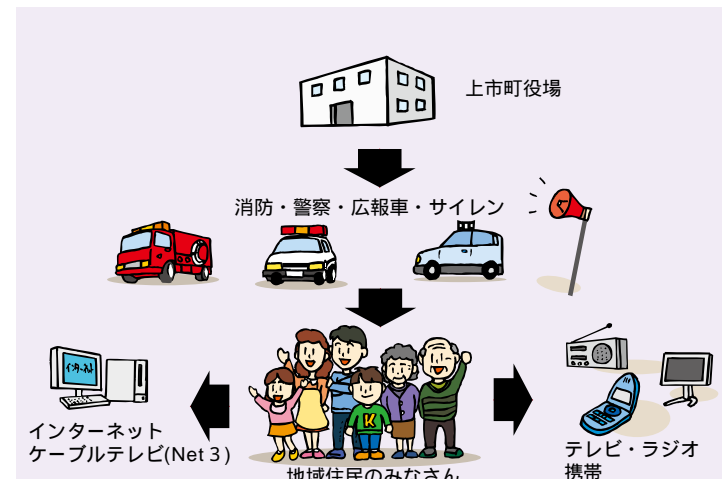
災害に備え、日ごろから持ち出し品の準備しておきましょう。



ラジオ
懐中電灯
ロープ
緊急衣料品
水

非常食
タオル
着替え
貴重品
その他

情報の伝達方法



情報の入手先

上市町防災情報
<http://www.town.kamiichi.toyama.jp/hp/bousai/bousai.htm>
 防災ネット富山
<http://www.palette.go.jp/bousainet/>
 富山地方気象台
<http://www.tokyo-jma.go.jp/home/toyama/>
 富山防災WEB
<http://www.bousai.pref.toyama.jp/web/jsp/index.jsp>